



国土交通省 中部地方整備局

富士砂防事務所



Mount Fuji Sabo Office, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和 3 年 1 月 27 日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

富士山噴火を想定した防災訓練を初めてリモートで実施しました

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点ならびに、富士山噴火時にリモートでの連携を要する場合を想定し、現状のウェブ接続環境下での連携状況の検証を兼ねて、火山噴火緊急減災対策砂防計画におけるソフト・ハード対策の習熟などを目的とする勉強会および訓練を実施した。

訓練は、WEBを活用したDIG形式（※1）で行いました。

※1 Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の略称。
ワークショップ形式の訓練

1. 日 時

令和3年1月21日（木） 13:30～16:00

2. 場 所

各参加機関の会議室等

3. 参加機関：

国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所	
（一社）富士建設業協会	8社
（一社）静岡県建設コンサルタント協会	2社
砂防ボランティア	5名

4. 配布先：静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ
山梨県政記者クラブ、富士吉田市政記者クラブ

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

事業対策官 大森 徹治

調査課長 村松 弘一

TEL 0544-27-5387

FAX 0544-27-5986

○訓練の想定

- 富士山の火山活動が高まり、**噴火が発生する可能性があることを想定**
- 火口想定箇所が判明し、弓沢川支川市兵衛沢において**緊急減災対策(仮設堰堤)**を整備

○検討内容

- 仮設堰堤の作業員の安全確保や下流の住民に避難の情報を伝えるため、**監視・観測機器の種類と設置位置を検討**
- 噴火した後に発生する降灰後の土石流による被害を軽減するために現在検討されている**対策工事を行う場合、課題等の抽出及び平常時から準備できる対策を検討**

○訓練方法

- **オンライン会議システムを活用し、1つのファイルを参加機関で共有しながら検討**

2.緊急減災対策砂防計画とは

(3)火山噴火緊急減災対策の事例 緊急ハード対策例(H26御嶽山噴火対応)

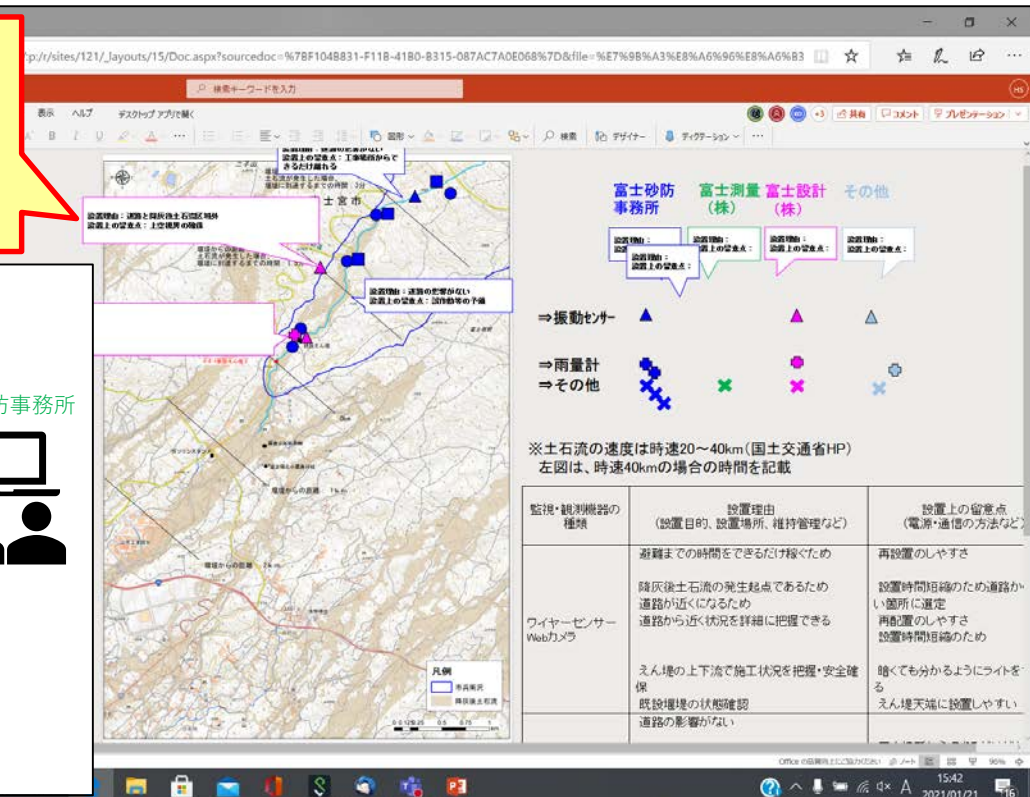
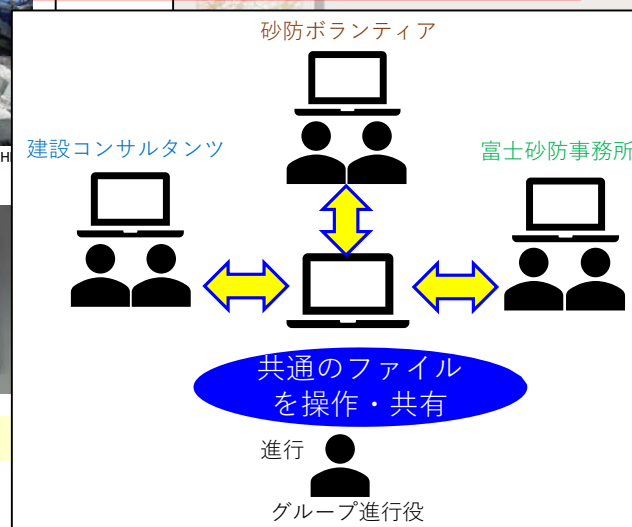


緊急ソフト対策例(H26御嶽山噴火対応)



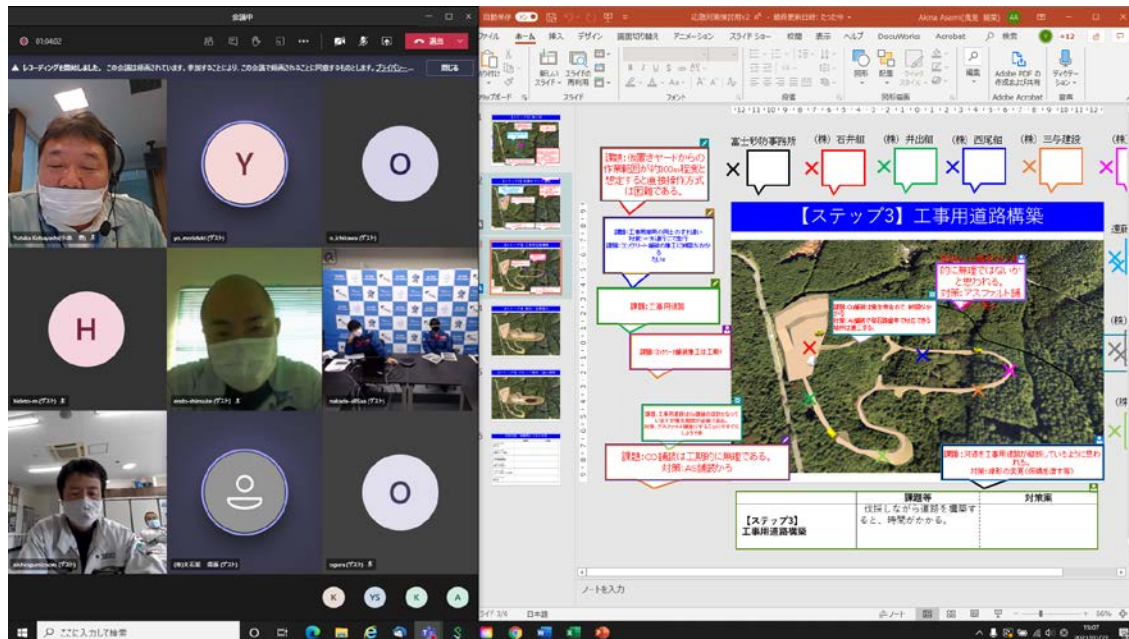
御嶽山ではH23年に減災計画を策定し、円滑に緊急対策を実施

インターネットを通じて、
数社が同じファイルを同
時に編集し、意見を協議



○訓練参加者の主な意見

- 新しい取組として参考になった。
- 始めてオンラインでの訓練に参加したが、取りまとめをするツールとしては優れているため、
オンライン上での難しさを克服することが出来れば、非常に有効なスタイルである。
- 定期的に行っていただくと理解が深まる。
緊急施工における課題や対策について各業者の考え方も参考にし、共有することができた。
- オンライン訓練により、働き方改革の推進であったり、今後のデジタルトランスフォーメーションの観点からペーパーレスを含め様々な取り組みが必要である。
- 他のWeb会議システムの検討も必要である。
実際の災害時、WEBを使用する事も考えられるため、定期的にWEBを活用する必要がある。



富士山火山噴火対応訓練の開催状況